

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対応の状況調査結果

調査概要

■目的

- ① 実態調査を通じて各施設に、感染予防対策の再確認と、平時からの備えに繋がっていただく
- ② 実態を保健所や市町村等、関係機関で共有し、課題を踏まえて支援策を検討する

■調査の方法

- ① 電子申請サービスにより実施
- ② 各事業所（入所系）にメール、FAXで依頼

■実施時期

令和4年10月26日～11月9日

■結果概要

- ✓ 高齢者施設の37.6%、障がい者施設の56%、救護施設の66.7%から回答を得た。
- ✓ 施設内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した施設は、高齢者施設で22.0%、障がい者施設等で25.4%であった。
- ✓ BCPを策定している施設は、高齢者施設で44.1%、障がい者施設等で41.3%であった。
- ✓ 手洗いや手指消毒をするようにはしているが、手指消毒の見える化については不十分であった。
- ✓ 3～4割の施設でゾーニングや業務整理等、発生時の準備ができていなかった。

調査項目

1. BCP等の作成について
1. 新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画(BCP)を策定していますか
2. 新型コロナウイルス感染者の発生やクラスター発生後に業務継続計画(BCP)の見直しを行いましたか
3. 国が作成した「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」を知っていますか
4. 国が作成した「介護現場における感染対策の手引き」について知っていますか
5. 県が作成したチェックリスト(※)について知っていますか
2. 平時の感染予防対策について
6. 職員が感染予防対策について学習していますか(研修会参加、動画の視聴等)
7. 職員、利用者のワクチン接種歴を把握していますか
8. 職員の健康状態を出勤時把握し、体調が悪い場合は休むように(必要時、医療機関への受診も)指導していますか
9. 入所者、サービス利用者の体温や健康状態を把握し、記録を保存していますか
10. 施設に入館する人(利用者以外)には体温測定や健康観察を行い異常がある人には入館を禁じていますか
11. 来所者、出入業者等の氏名、来訪日時、連絡先を記録させていますか
12. 入所者と接触する前後で職員は手洗い・手指消毒をしていますか
13. 消毒薬の使用量をチェックする等、手指消毒の実施を見える化していますか
14. 利用者が日常触れる手すりやドアノブ等の消毒を徹底していますか
15. 施設の消毒に使用している消毒薬は何ですか(複数回答可)
16. 施設の消毒(環境整備としてや物品に対して)をどのように実施していますか
17. 職員同士でも適切な感染対策(マスク着用、休憩室の人数制限等)を行っていますか

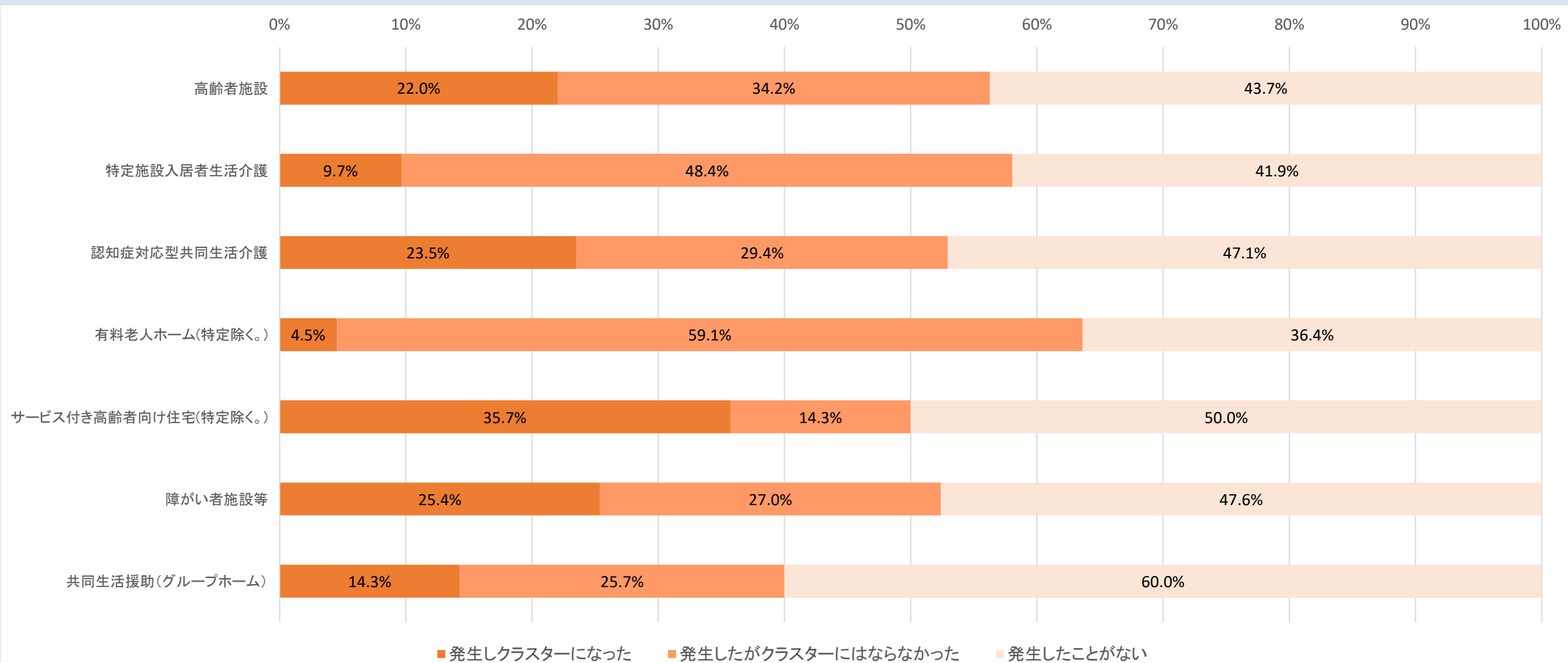
18. 施設内の定期的な換気を行っていますか
19. 施設内でコロナ患者が発生した際の対応について、嘱託医や主治医と対応方針を確認していますか
3. 疑い例発生から陽性確認直後
20. 職員や利用者に陽性が確認されたときの、全体を統括する責任者、代行者が決まっていますか
21. 職員全員がゾーニングの意味を理解していますか
22. 施設内の3つのゾーン分けについて図面等を基に具体的に検討していますか
23. ゾーニングに必要な物品は(パーテーション・ゴミ箱など)の物品を準備していますか
24. 陽性者や濃厚接触者のケアについて、誰もが直ぐに確認できるよう、手引き等を整備していますか
25. 消毒薬・手袋等の消毒に必要な物品が備蓄されていますか
26. ガウン、N95マスク、手袋、フェイスシールド等、必要数を試算した上で備蓄していますか
27. 感染が強く疑われる利用者・濃厚接触者・それ以外の利用者別に担当する職員を決めていますか
28. 職員体制が脆弱になった場合の業務の整理と必要な職員数が試算できていますか
29. 施設内で感染が急拡大したなどの緊急時、同一法人内等からの応援体制がありますか
. これまでの設問の中で、取組みが難しいと感じた(感じている)項目を3つ記入してください

1. 回答状況

サービス種別	送付数	回答数	回答率
介護医療院	10	6	60.0%
介護療養型医療施設	1	1	100.0%
介護老人福祉施設(広域型)	92	59	64.1%
介護老人保健施設	37	27	73.0%
看護小規模多機能型居宅介護	5	2	40.0%
小規模多機能居宅介護	83	29	34.9%
短期入所生活介護	111	4	3.6%
短期入所療養介護	47	0	0.0%
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	3	100.0%
地域密着型老人福祉施設	23	17	73.9%
特定施設入居者生活介護	46	31	67.4%
認知症対応型共同生活介護	146	68	46.6%
認知症対応型通所介護	46	4	8.7%
有料老人ホーム(特定施設を除く)	68	22	32.4%
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設を除く)	51	14	27.5%
養護老人ホーム(特定施設を除く)	5	2	40.0%
軽費老人ホーム(特定施設を除く)	11	6	54.5%
高齢者施設	785	295	37.6%
障害者支援施設	29	21	72.4%
共同生活援助(グループホーム)	73	35	47.9%
福祉型障害児入所施設	5	3	60.0%
医療型障害児入所施設	2	2	100.0%
障がい者施設	109	61	56.0%
救護施設	3	2	66.7%

- ・ 高齢者施設からは37.6%、障がい者施設からは56.0%、救護施設からは66.7%の回答が得られた。

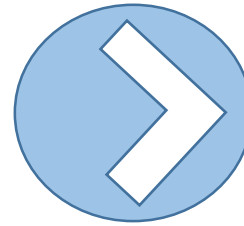
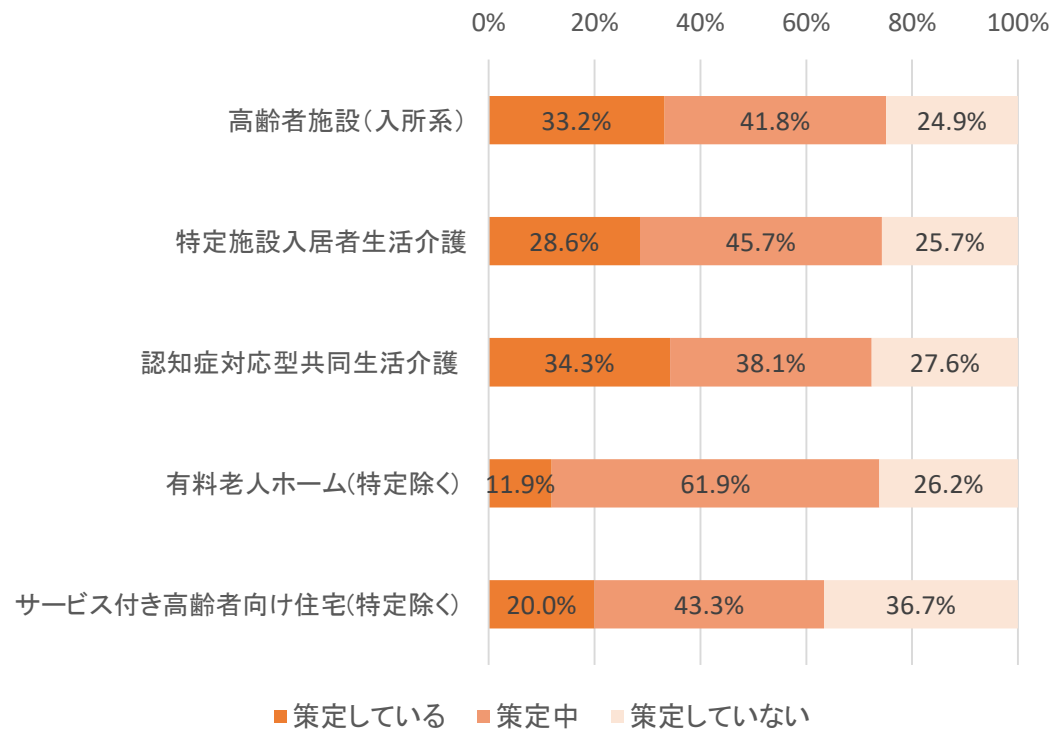
2. これまでに施設内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生しましたか



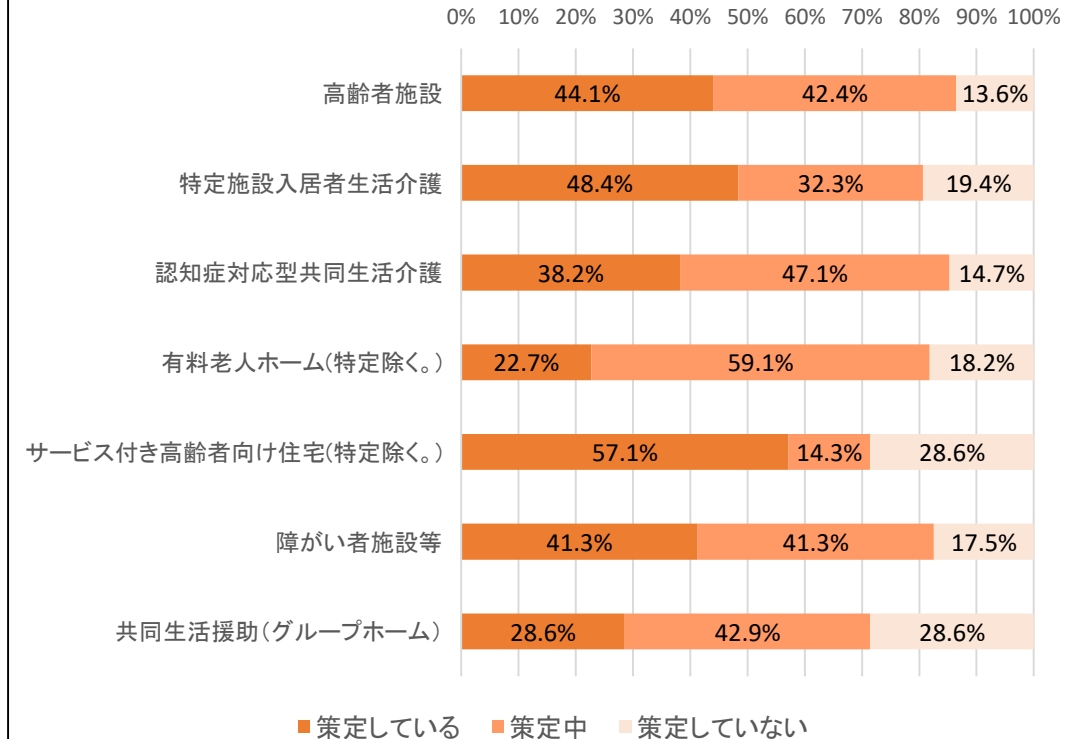
- ・ 高齢者施設及び障害者施設等で半数以上が施設内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した経験がある。

3. 新型コロナウイルス感染症発生時のBCPの策定状況

2021年



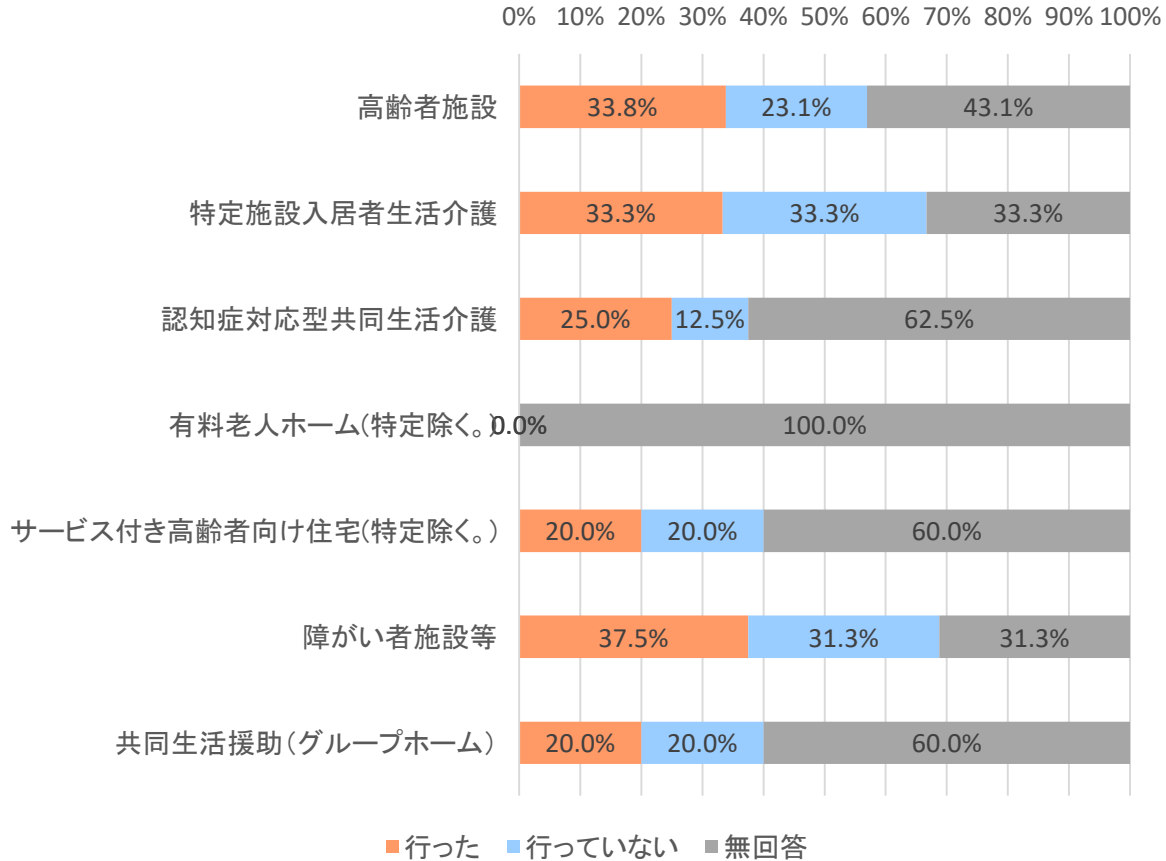
2022年



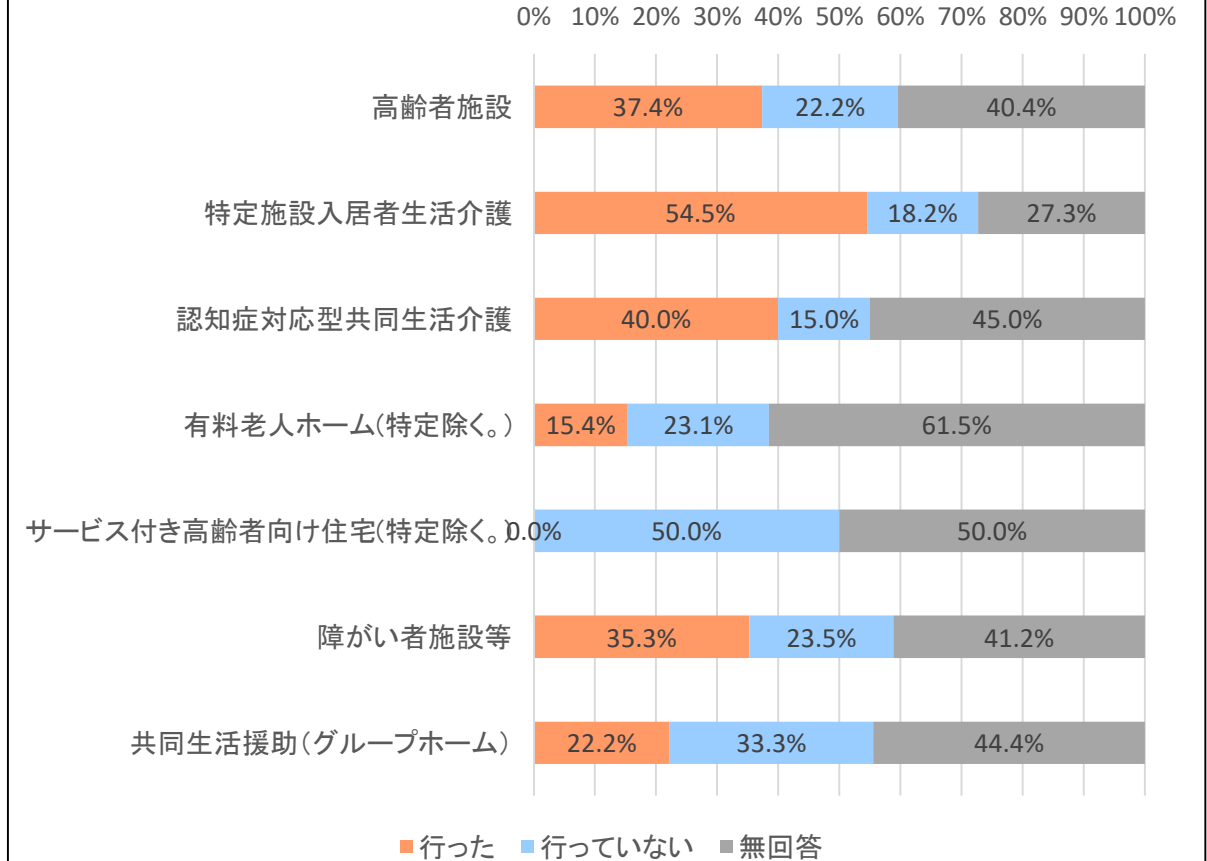
・ 高齢者施設については昨年度と比較し、BCPを策定しているまたは策定中の施設が増えた

3. 新型コロナウイルス感染症発生時のBCPの策定状況

新型コロナウイルス感染者の発生やクラスター発生後に業務継続計画(BCP)の見直しを行いましたか
(クラスター経験有)



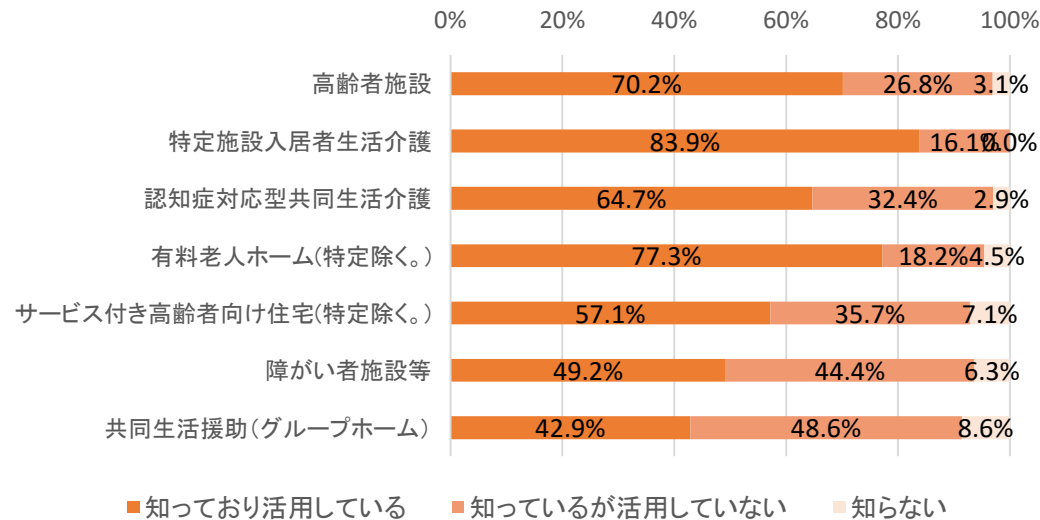
新型コロナウイルス感染者の発生やクラスター発生後に業務継続計画(BCP)の見直しを行いましたか
(クラスター経験無)



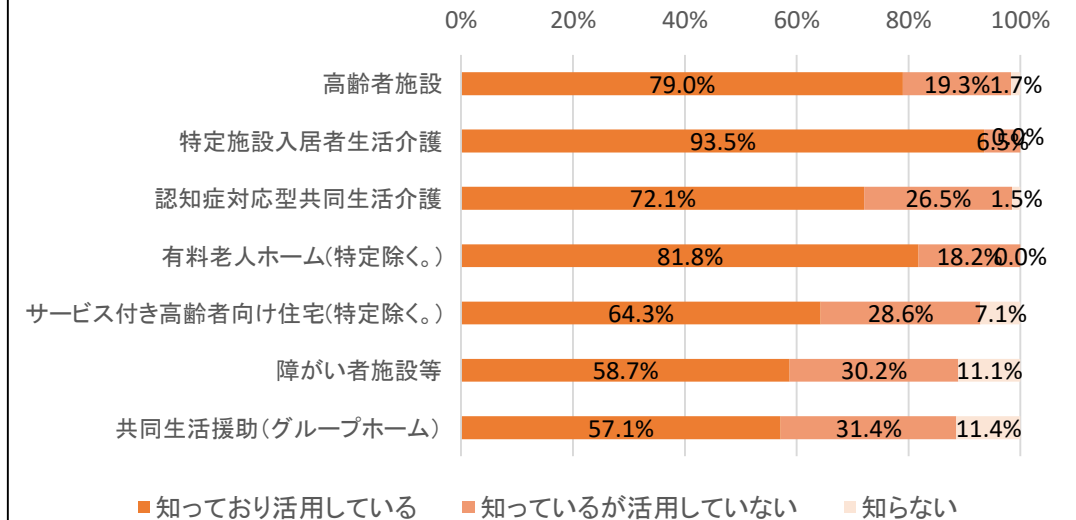
- ・クラスターを経験した施設では、高齢者施設で3割、障がい者施設等では約4割が、クラスター発生後にBCPの見直しを行っている

4. 国や県の策定したガイドライン、チェックリストについて

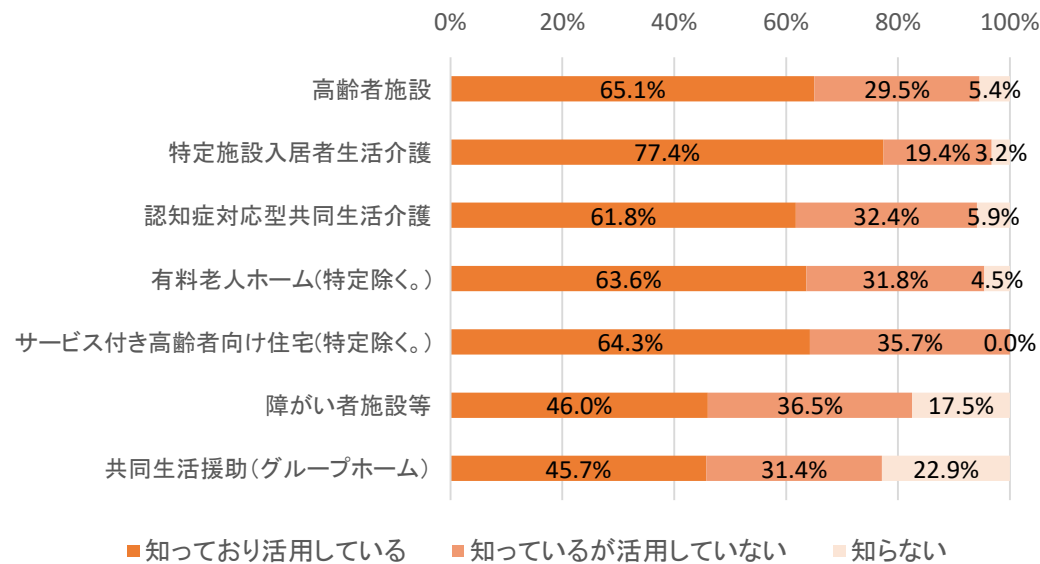
国が策定した新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインを知っているか



国が策定した介護現場における感染対策の手引きについて知っているか

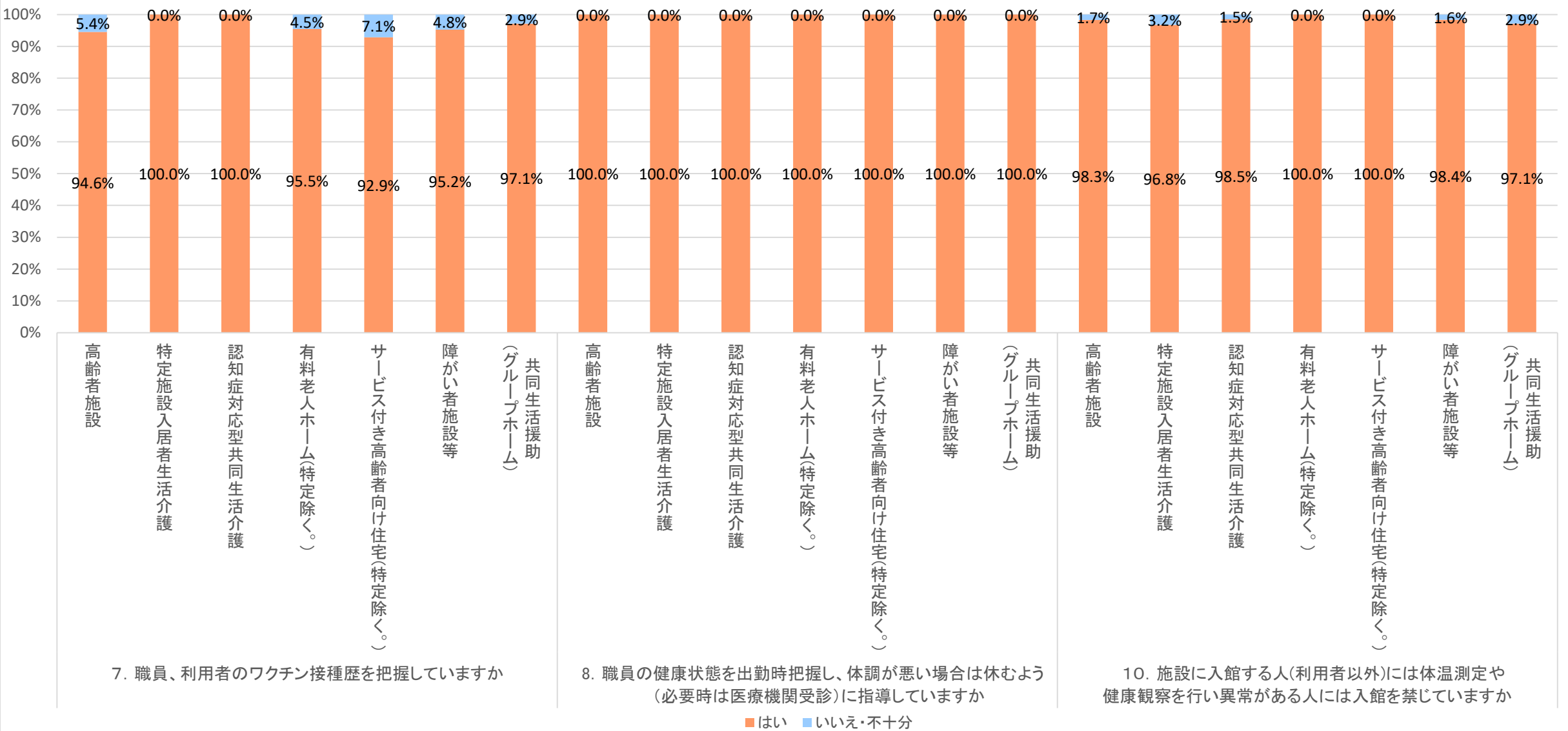


県が作成したチェックリストについて知っているか



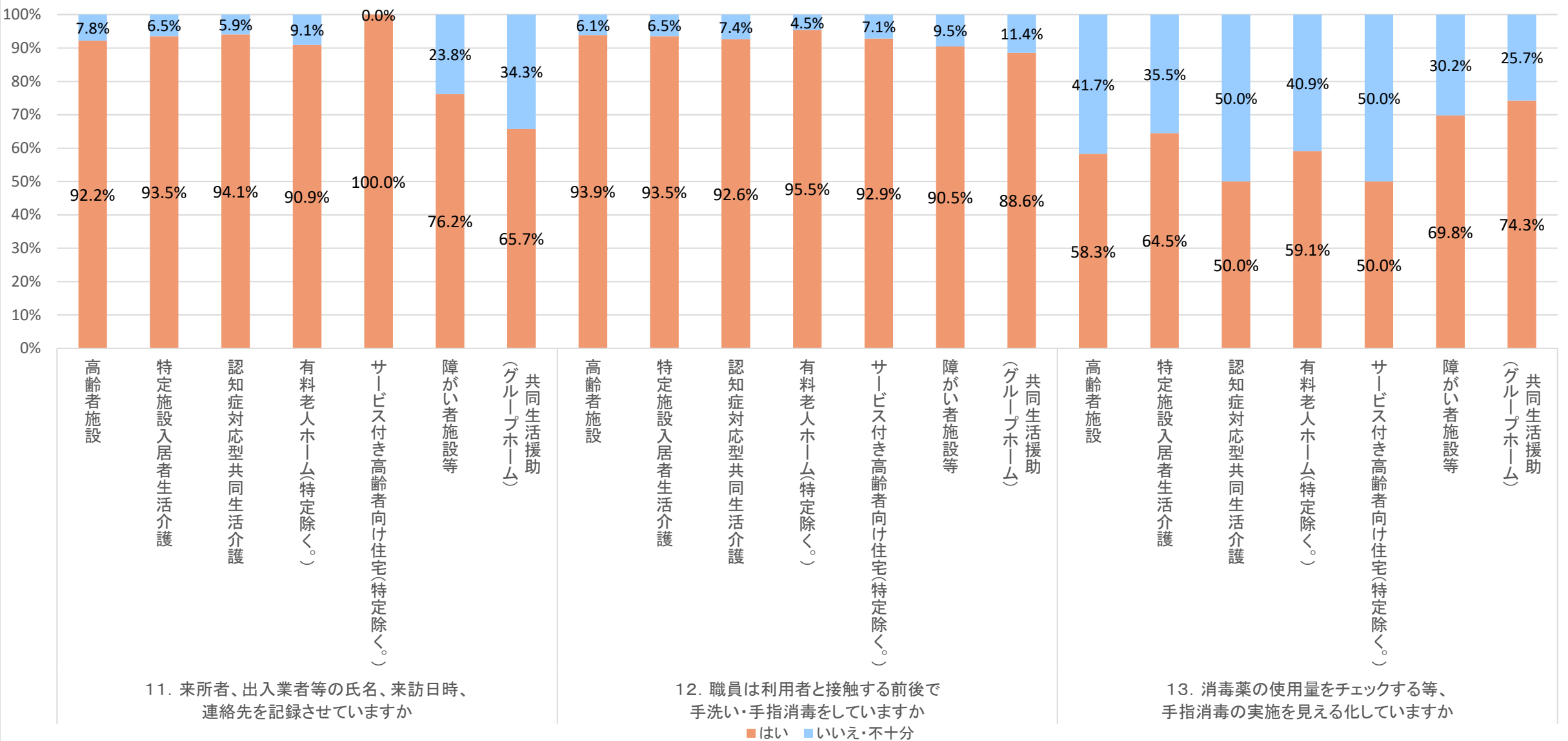
- ・ ガイドラインについては、高齢者施設で7割、障がい者施設等で5割が活用している。
- ・ 感染対策の手引きについては、高齢者施設で約8割、障がい者施設等で約6割が活用している。
- ・ チェックリストについては、高齢者施設で6割5分、障がい者施設等で約4割5分が活用している。

5. 平時の感染予防対策について



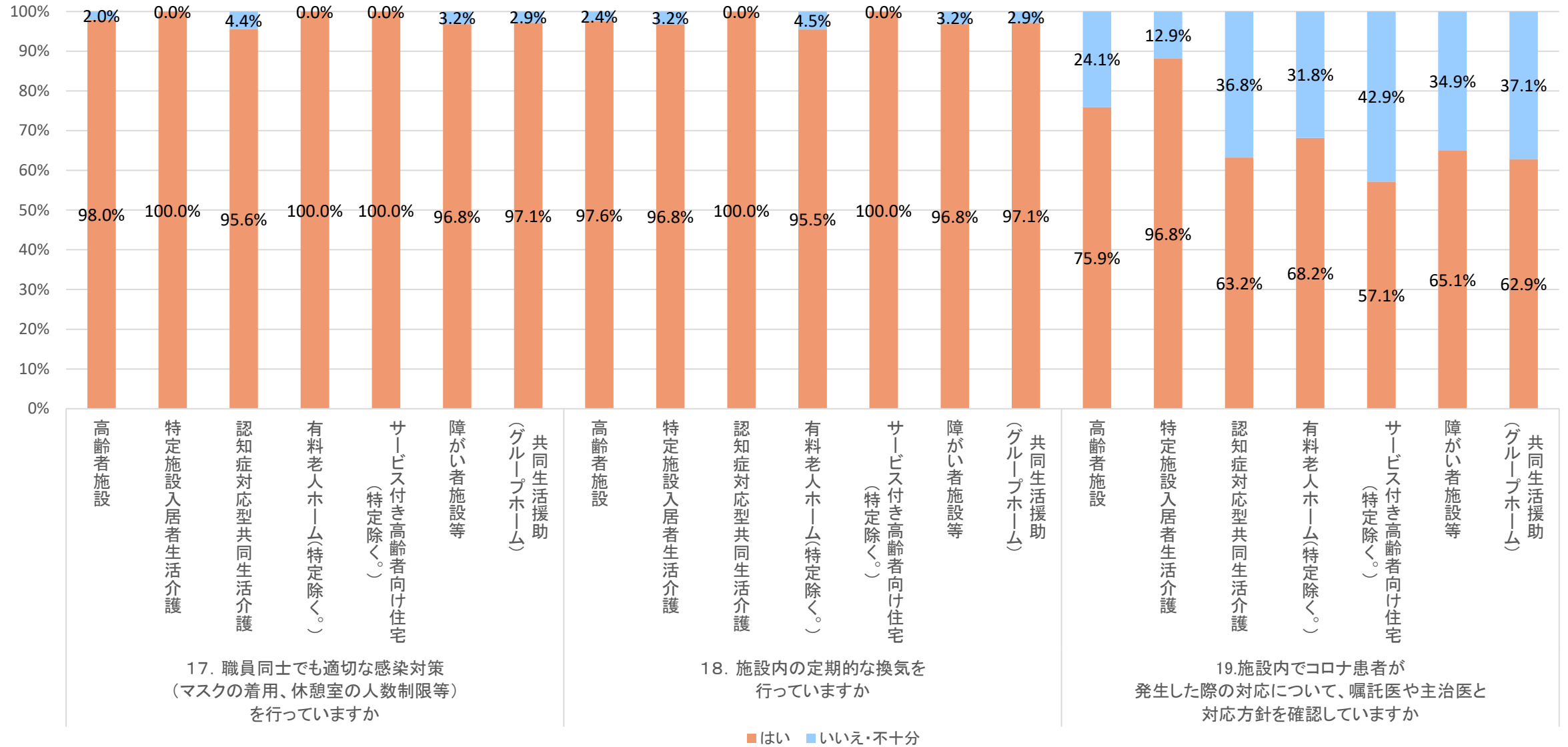
- ・ワクチンの接種歴については、高齢者施設及び障がい者施設等でおおむね把握している。
- ・職員の健康状態については、全ての施設で把握し、体調が悪い場合は休むように伝えている。
- ・施設に入館する際の健康観察については、大半の施設で行っている。

5. 平時の感染予防対策について



- ・利用者とは接触する前後での手洗い、手指消毒についてはどの施設でも9割以上実施している。
- ・一方で、消毒薬の使用量チェック等の手指消毒実施の見える化については、5～7割程度であった。

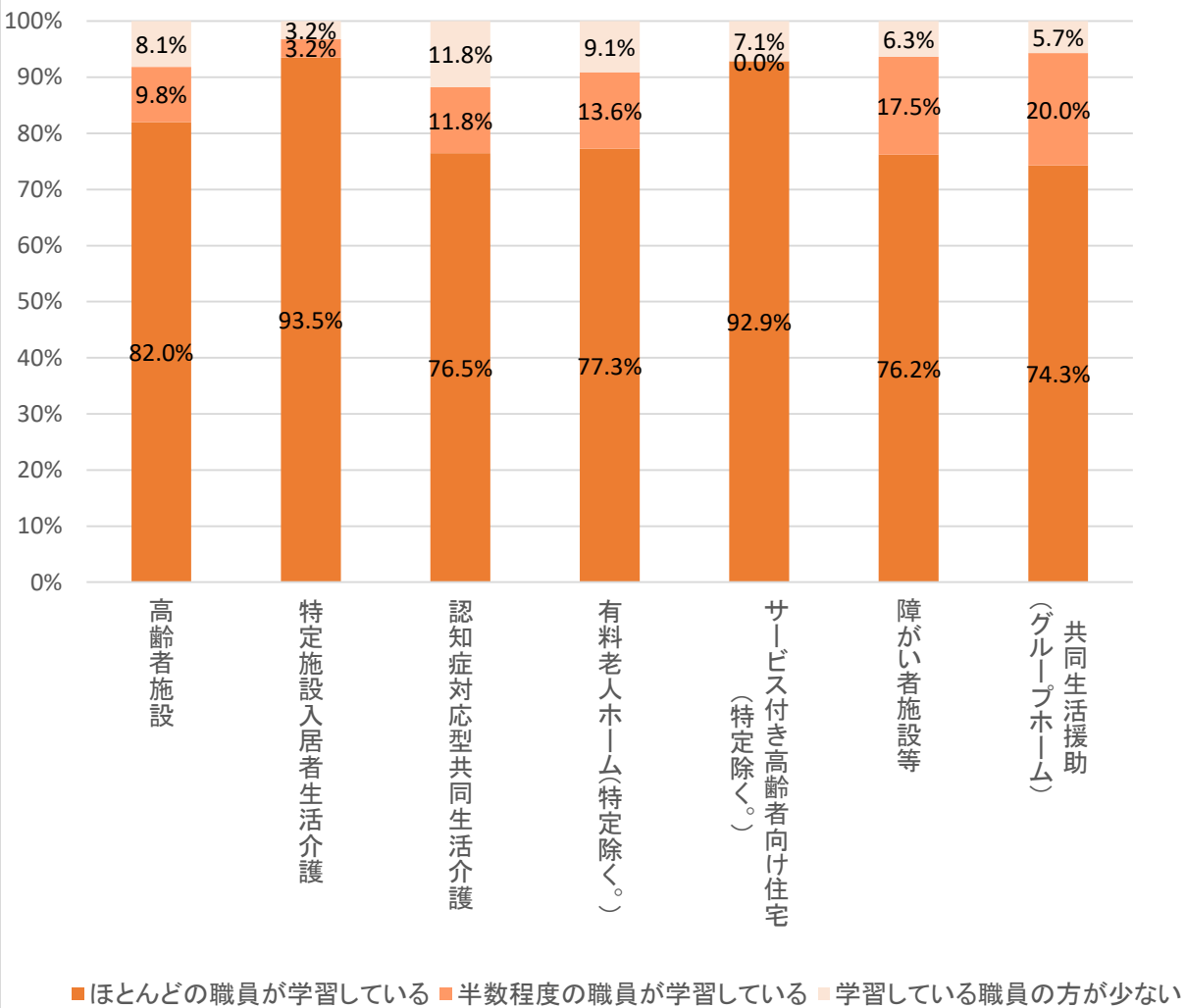
5. 平時の感染予防対策について



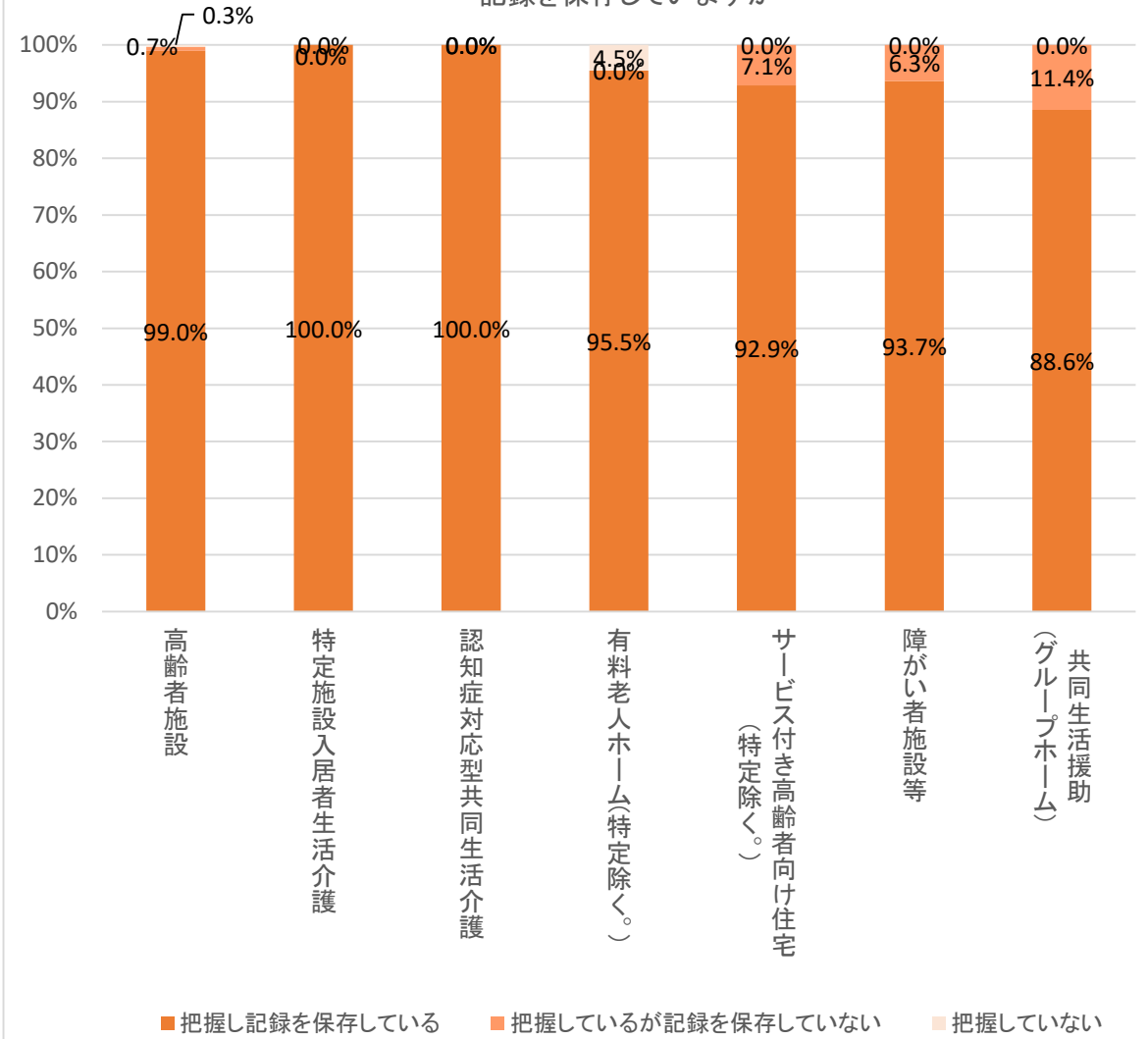
- ・職員同士の感染対策や施設内の定期的な換気については、どの施設でも概ね実施できている。
- ・嘱託医や主治医と対応方針の確認については、高齢者施設で75.9%、障がい者施設等で65.1%が実施している。

5. 平時の感染予防対策について

6. 職員が感染予防対策について学習していますか
(研修会参加、動画の視聴等)



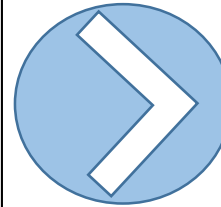
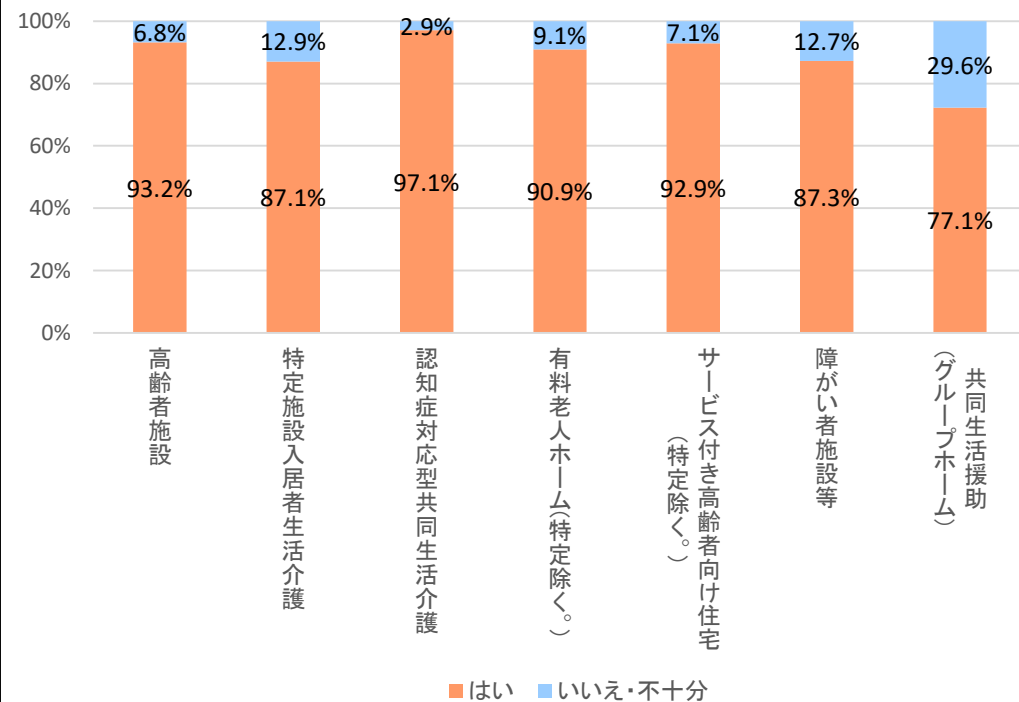
9. 入所者、サービス利用者の体温や健康状態を把握し、記録を保存していますか



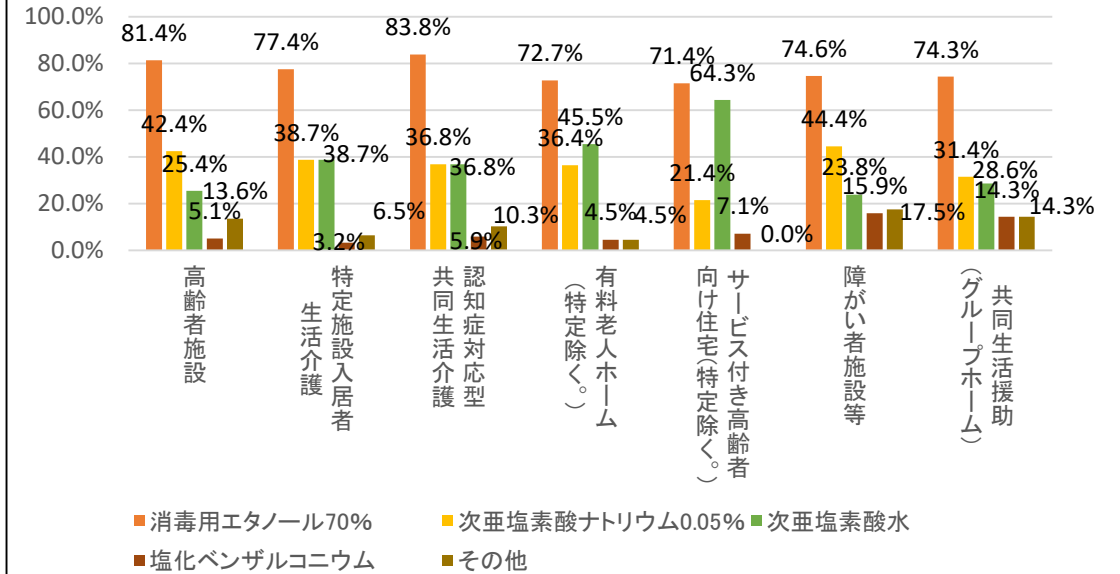
・感染予防対策の学習については、高齢者施設で8割以上、障がい者施設等で7割以上の施設で、ほとんどの職員が行っている。

5. 平時の感染予防対策について（消毒）

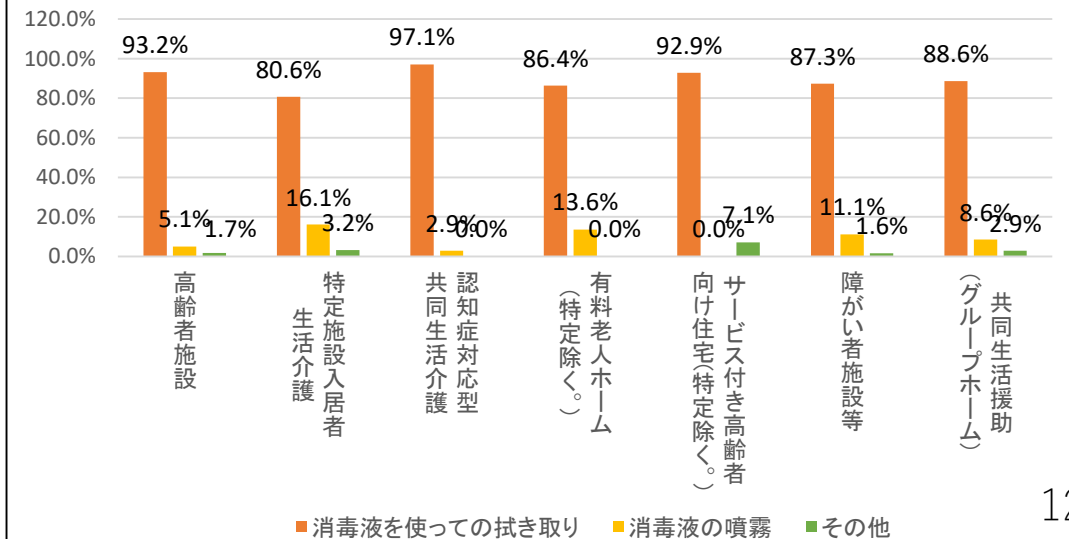
14. 利用者が日常触れる手すりや
ドアノブ等の消毒を徹底していますか



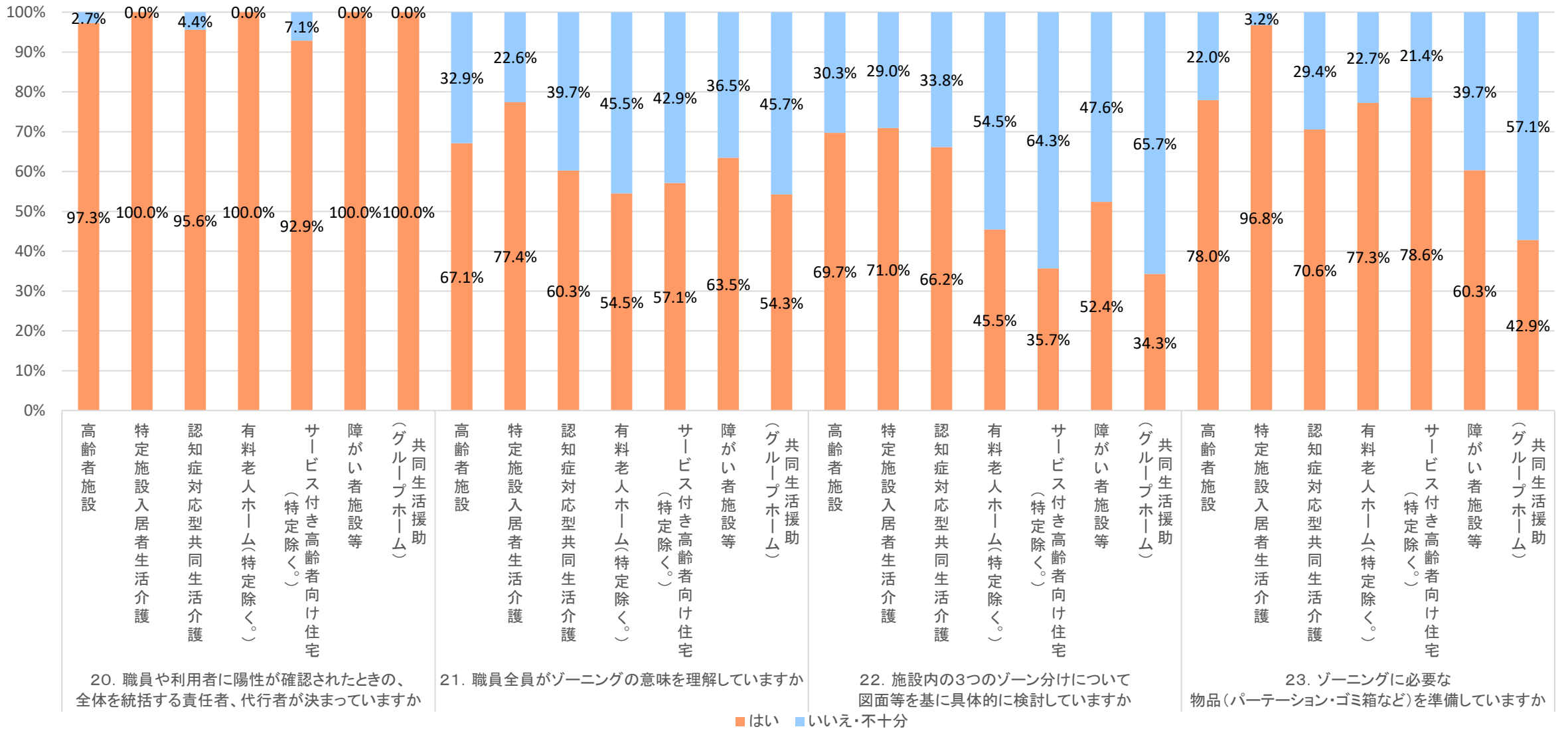
15. 施設の消毒に使用している消毒薬は何ですか（複数回答可）



16. 施設の消毒（環境整備や物品に対して）を
どのように実施していますか

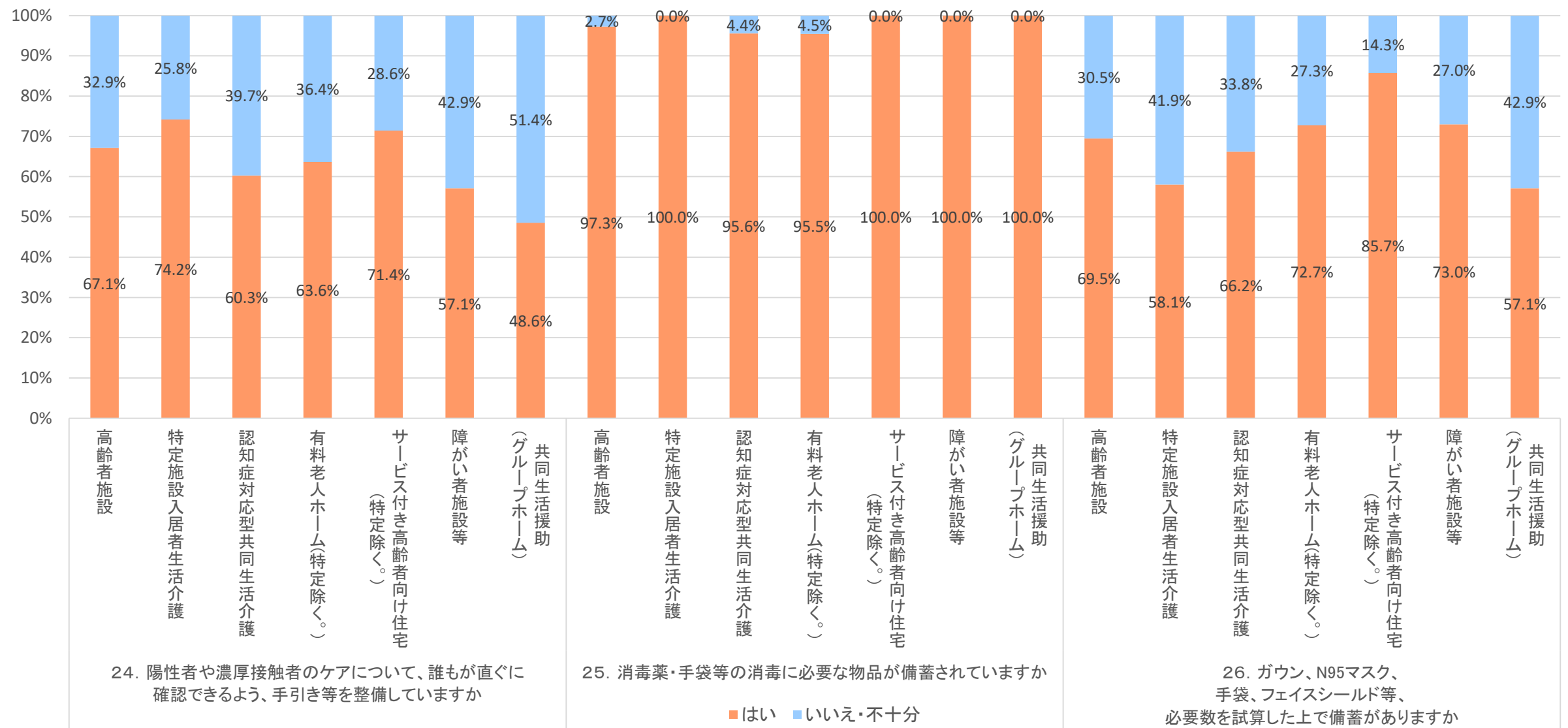


6. 疑い例から陽性確認直後の対応について



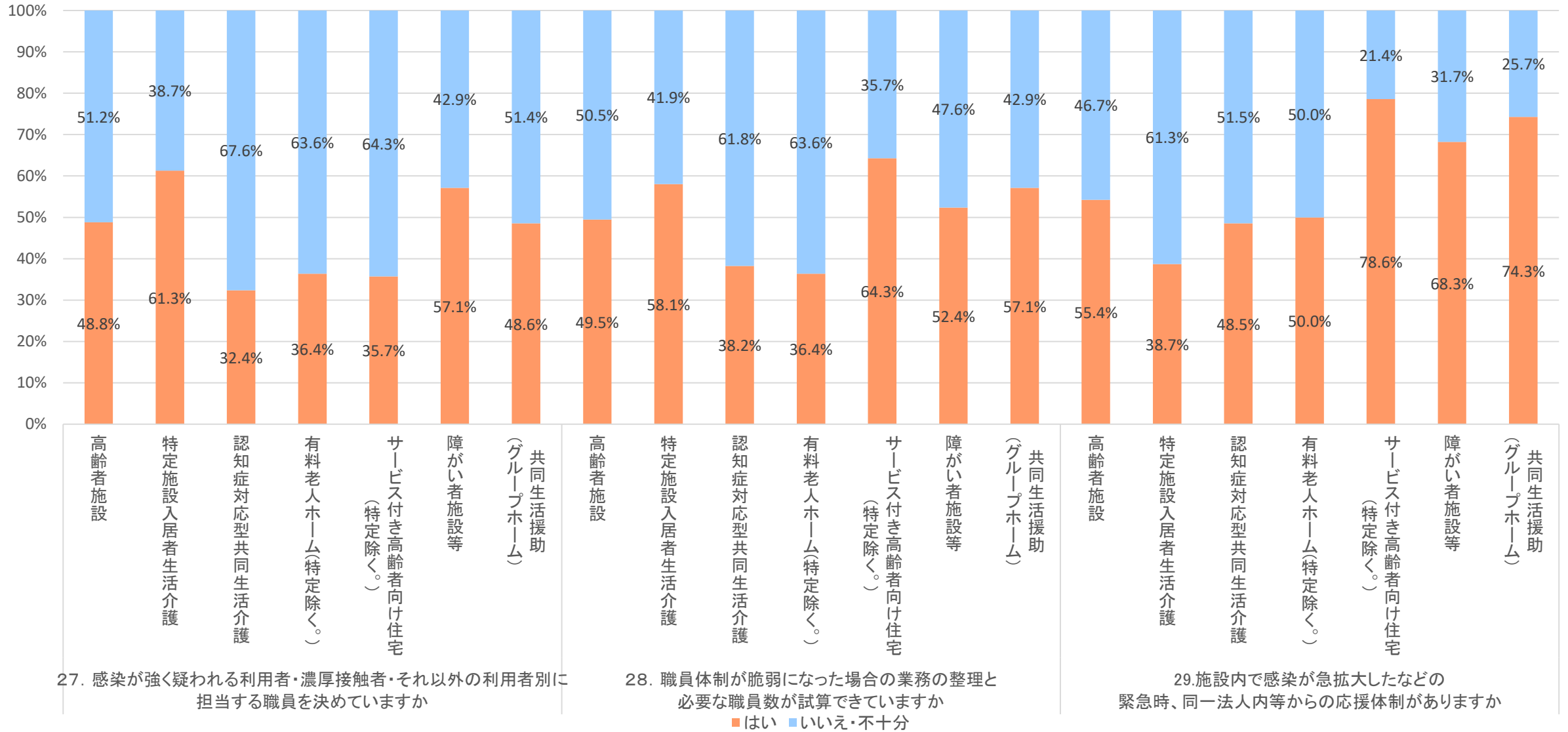
- ・全体を統括する責任者や代行者については、大半の施設で決まっている。
- ・ゾーニングについて職員全員が理解している施設は、高齢者施設で67.1%、障がい者施設等で63.5%であった。

6. 疑い例から陽性確認直後の対応について



- ・ケアの手引き等を整備している施設は、高齢者施設で67.1%、障がい者施設等で57.1%であった。
- ・ガウン等の物資について、必要数を試算した上で備蓄できている施設は、高齢者施設で69.5%、障がい者施設等で73%であった。

6. 疑い例から陽性確認直後の対応について



- ・上記三項目については、実施できている施設が4割から6割程度であった。

10. 結果のまとめ

- これまでに施設内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した施設は、高齢者施設及び障がい者施設等で5割を超えており、クラスターを経験した施設は高齢者施設及び障がい者施設で約2割であったが、施設の種別によっては3～5割の施設もあった。
- 「新型コロナウイルス感染症発生時」のBCPを策定している施設は全体で約4割であった。
昨年度と比べ策定が進んでいる状況であった。
- 全体の7～8割の施設で、職員のほとんどが感染予防対策について学習していた。一方で、ゾーニングの検討や消毒、手引きの準備等、発生時の初動対応については半数の施設で取組が進んでいない状況であった。施設における初動対応と準備について周知等が必要である。
- 施設内療養をするに当たって、嘱託医等からの支援が必要となってくるため、平時から嘱託医等と連携し施設内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した際の対応方針について確認しておく必要がある。
- 職員体制的に厳しい部分（担当職員を決めておく・同一法人内での応援体制等）については、県社協を通じた介護職員派遣制度もあるが、圏域内でも支援できるような対策を考えていく必要がある。また、外部からの応援が入った場合を考えた上で、事前に施設内で業務整理をしておく必要がある。